

平成21年5月14日

各位

上場会社名 株式会社 ツムラ  
コード番号 4540  
本社所在地 東京都港区赤坂2-17-11  
問合せ先 責任者役職名 コーポレート・コミュニケーション室長  
氏 名 加藤 照和  
TEL(03)6361-7100

## 2009～2011 年度 中期経営計画（連結）について

当社は、本日開催の取締役会において、2009年度（2010年3月期）を初年度とする中期（3ヵ年）経営計画を策定しましたので、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 中期経営計画策定に当たっての考え方

当社は2007年5月に、2007年度を初年度とする中期（3ヵ年）経営計画を策定・発表いたしました。「漢方・生薬事業に特化した事業展開のスタートの年」と位置づけたこの経営計画で、医療用漢方製剤の数量ベースで7%の伸長を前提とし、次の活動を実施してまいりました。

- ・漢方医学の確立
- ・育薬の推進
- ・漢方の国際化
- ・生産体制の整備
- ・生薬トレーサビリティ体制の確立
- ・開かれた会社の創造

これらの活動を推進した結果、直近の医療用漢方製剤は数量ベースで10%を超える伸長となりました。

また、この期間、以下の施策を行ってまいりました。

- ・米国の子会社Pacific Marketing Alliance, Inc.の株式譲渡（2007年11月）
- ・ツムラ ライフサイエンス株式会社の株式譲渡（2008年8月）
- ・医療用外用抗真菌剤「アスタット」の製造販売承認の承継（2009年2月）

これらの状況を勘案し、「漢方・生薬事業に特化した新たなステージの展開」と位置づけ新たな中期経営計画を策定いたしました。

新たな中期経営計画の骨子は以下のとおりです。

#### (1) 売上高、利益について

医療用漢方製剤は、数量ベースで10%の伸長を前提とし、2011年度連結売上高1,043億円、営業利益254億円を目指してまいります。

#### (2) 重要な経営指標

資本効率の改善、更なる収益率向上の観点から、引き続きROA（総資産営業利益率）を重要な経営指標として位置づけてまいります。2011年度16.7%を目標といたします。

(3)設備投資について

医療用漢方製剤の需要の増大に伴い、安定供給体制を維持することを目的に、静岡・茨城・上海の3工場体制の能力増強を中心に、3年間合計で260億円を計画しております。

(4)配当について

2009年度1株当たりの配当金は、第2四半期配当金及び期末配当金ともに20円とし、年間配当金は、2008年度より6円増配の40円とさせていただきます。今後も、投資等の状況を勘案しながら、増配基調を継続してまいりたいと考えております。

2. 2009年度～2011年度 中期経営計画における数値目標（単位：百万円）

	2008年度 実績	2009年度		2010年度		2011年度	
		計画	前同比	計画	前同比	計画	前同比
売上高	90,016	92,300	2.5%	96,900	5.0%	104,300	7.6%
営業利益	16,483	19,100	15.9%	20,700	8.4%	25,400	22.7%
経常利益	16,622	19,300	16.1%	20,900	8.3%	25,700	23.0%
当期純利益	10,777	11,300	4.9%	12,100	7.1%	15,000	24.0%
研究開発費	3,958	3,700	△6.5%	3,800	2.7%	3,900	2.6%
設備投資	5,479	6,900	25.9%	9,500	37.7%	9,600	1.1%

	2008年度実績	2009年度計画	2010年度計画	2011年度計画
ROA (総資産営業利益率)	12.6%	14.5%	14.7%	16.7%

3. 中期経営計画の活動目標

(1)漢方医学の確立

全国80大学医学部・医科大学における漢方医学教育の充実、及び付属病院への漢方外来の設置に向けた支援を継続してまいります。

(2)育薬の推進

近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療では難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患的を絞り、エビデンスを確立するために継続して育薬推進活動を展開してまいります。また、新たな育薬処方についても探索を行い、積極的に育薬の推進を実施してまいります。

(3)漢方の国際化

育薬の推進との連携により、国内における基礎・臨床の最新のデータを米国の臨床試験の手続きに連携させる体制を整えてまいります。また、日米オーソリティドクター同士の情報交換を推進し、より効率的な開発体制を構築し、「TU-100（大建中湯）」の開発を進めてまいります。

(4)生産能力の増強と品質管理体制の充実

エキス粉末製造棟の増設、造粒棟の建設、包装設備導入など設備の更新、効率的な要員配置を進め、医療用漢方製剤の需要の増大に対応してまいります。品質管理体制につきましては、分析センターを中心に、検査の統一化と効率化を図ってまいります。

(5)安全な生薬の安定確保

トレーサビリティ体制を充実させ、国内外の産地における栽培方法・栽培管理の統一化を進め、安全で安心できる原料生薬の安定確保に継続して取り組んでまいります。

(6)開かれた会社の創造

引き続き、企業価値の向上を目指したマネジメント体制を構築し、当社を取り巻く多様なステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、企業姿勢を明確に示してまいります。

以上が中期経営計画における活動目標であります。当社は漢方・生薬事業を通じて、社会や人々のお役に立てる企業、人に優しい企業を目指してまいりますと考えております。

以上

【参考】

2007年5月発表の中期経営計画の進捗状況（連結・単位：百万円）

	2007年度			2008年度			2009年度
	計画	実績	差異	計画	実績	差異	計画
売上高	95,000	94,799	△201	99,000	90,016	△8,984	104,500
営業利益	16,000	15,820	△180	17,000	16,483	△517	20,000
経常利益	15,500	15,258	△242	16,500	16,622	122	19,600
当期純利益	8,800	9,139	339	9,500	10,777	1,277	11,500
ROA	11.3%	11.4%	—	11.9%	12.6%	—	13.5%

●計画数値は、全て2007年5月発表時の数値です。

●2008年度の計画につきましては、2008年5月、8月、11月及び2009年2月に修正を行っております。

●2008年度の売上高の差異は、2008年8月に、ツムラ ライフサイエンス株式会社の株式譲渡を行い、同社を2008年度第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外したことによります。

2009年度計画の前回中期経営計画と今回中期経営計画の比較（連結・単位：百万円）

	2009年度		
	前回中期経営計画	今回中期経営計画	差異
売上高	104,500	92,300	△12,200
営業利益	20,000	19,100	△900
経常利益	19,600	19,300	△300
当期純利益	11,500	11,300	△200
ROA	13.5%	14.5%	—

●前回中期経営計画の売上高にはPacific Marketing Alliance, Inc.、ツムラ ライフサイエンス株式会社ならびに医療用外用抗真菌剤「アスタット」の約180億円が含まれております。